座間市立相武台東小学校　　NO.7　　2023.5.15（月）

校長室だより

校長　山﨑　聡子

子供たちのもつ豊かさ

気持ちの良い天気の中，１年生が朝顔の種植えをしていました。自分の植木鉢に土を入れるために土の入った袋を切って入れようとしていました。でも，切り口が小さいため，なかなか土が出てきません。切り口を大きくするために袋を持つことを手伝うと，「ありがとうございました。」という嬉しい言葉が返ってきました。大切な言葉を自然に使える子供たちがすてきだなあと思います。

その後，種を植えるために指で５つの穴をあけ，落とさないように気を付けながら丁寧に小さな種を一粒ずつ穴の中に入れていきました。優しく土をかけ，周囲に肥料を置き，種植えの完成です。一つ一つの作業を真剣な表情で取り組んでいました。「きれいな朝顔咲いてね。」と，植木鉢の中に入っている朝顔の種に話しかけている子がいました。生きている植物に声をかける豊かな感性に触れることができることに幸せを感じました。

水をあげるために，きらきらした表情でペットボトルのじょうろに水を汲み，水をたっぷりあげていました。これから自分が育てていく朝顔に気持ちを寄せているのだろうなあと思いながら，子供たちが一生懸命お世話する姿を見守りました。

種植えをした次の日から，自分の植木鉢をのぞきながら，水をあげている子供たちの姿がたくさんあります。自分が種を植えたということを通して，朝顔が大切な存在になったこと，そして毎日の水やりというお世話をする中で，これからもっと大切な存在になっていくのだろうと思います。

「きみがバラのために費やした時間の分だけ，バラはきみにとって大事なんだ」
（星の王子さま：サンニテグジュペリ著）

この言葉は，王子さまにキツネが語る言葉です。王子さまは，たくさんのお世話をしてきた一本のバラが，他の多くのバラとは異なる特別な存在となっていることに気付いていきます。子供たちの姿を見て，この言葉がふと頭をよぎりました。

これから芽を出し，双葉が出て，本葉をつけながら蔓が伸び，花を咲かせて成長していく朝顔に触れ合いながら，子供たちの心の中が，動き出していくことと思います。子供の心の豊かさがさらに引き出されることを楽しみに見守っていきたいと思います。

子供のすてきな姿

５年生のすてきな姿がありました。朝，外の階段の所に座っている子がいました。「足が痛い。」と言う友達に，同じ５年生の友達が肩を貸してゆっくりと歩いて昇降口に向かう姿がありました。頼もしい姿でした。足の痛みは，ひどくならずに，よくなったのことでしたが，体調がよくない時に，気にかけて助けてくれる仲間がいるということは，心強いものです。

また，給食の時間には，いつも理科委員が放送をしてくれます。様子を見に行くと，放送委員が，練習の様子を見ながらアドバイスしていました。放送はとても上手にできました。そして，放送室に委員会の友達の給食を届けるクラスの仲間の姿もありました。

いろいろなところで，お互いの温かな関わりが見られます。すてきな子供たちです。